

アメリカとのホストタウン事業

(平成 30 年 10 月 20 日、21 日)

ホストタウン事業の一環として、平成 30 年 10 月 21 日（日曜日）、アメリカのナショナルコーチの Darryl Woodson コーチとトップアスリートである Sharika Nelvis 選手と Mike Rodgers 選手を招いて陸上クリニックを開催しました。Darryl コーチは前回に引き続き、2 回目の陸上クリニックとなります。

また、前日の 20 日（土曜日）には、来日した 3 人と共に市内を巡り、高校の陸上部員を指導したり、成田弦まつりが開催されていた成田山表参道や新勝寺を散策するなど、高校生との交流や日本の文化を体験していただきました。

中台運動公園陸上競技場訪問（20 日）

来日した 3 人と共に中台運動公園陸上競技場を訪れました。この日は、成田北高校、成田国際高校、成田西陵高校陸上競技部が練習しており、コーチたちはその練習に交じり、気さくにアドバイスなどをしていました。

高校生たちは、選手によるデモンストレーションの際には、一挙手一投足を見逃すまいと真剣な眼差しで見つめ、コーチのアドバイスには、顧問の先生も一緒に耳を傾けるなど、少しでもパフォーマンスの向上に繋げようとしている姿が印象的でした。

また、コーチたちも高校生たちに指導することを楽しんでおり、予定の時間を過ぎるほど熱心に指導していました。











成田山表参道・新勝寺散策（20日）

日本の文化を体験していただく目的で、日本遺産にも認定されている成田山表参道や新勝寺を散策しました。

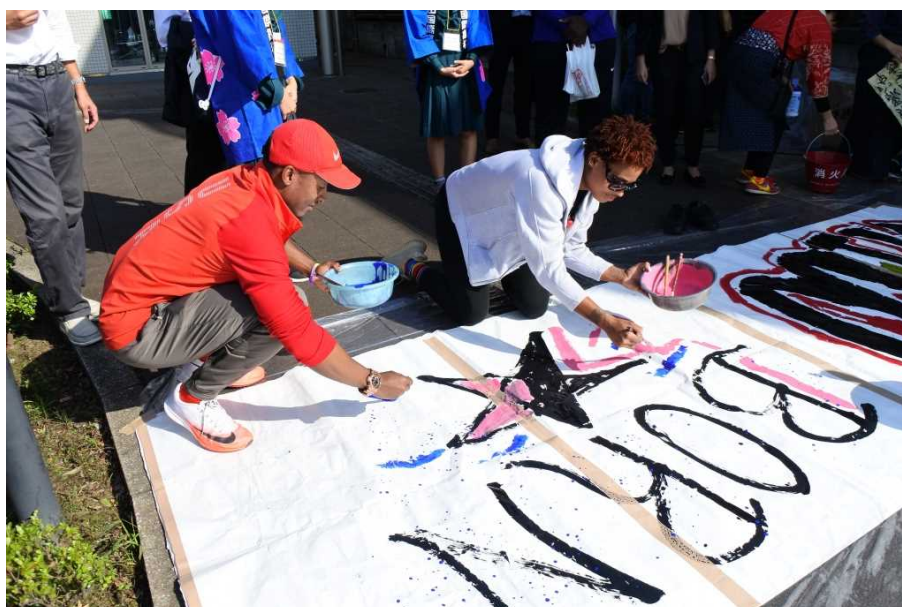
ちょうど成田弦祭りが開催中の成田山表参道は大変賑わっており、成田国際高校の生徒によるアテンドにより、まず3人は、成田国際高校の書道部が実演していた書道パフォーマンスを見学し、書道部の生徒のサポートを受けながら、実際に体験していただきました。

その後、茶道コーナーでお茶をたしなんだあと、津軽三味線の体験コーナーで、人生初めての三味線を体験していただきました。

どれも初めての経験でしたが、臆することなく積極的に体験し、たくさんの笑顔が見られるなど、とても楽しんでいました。

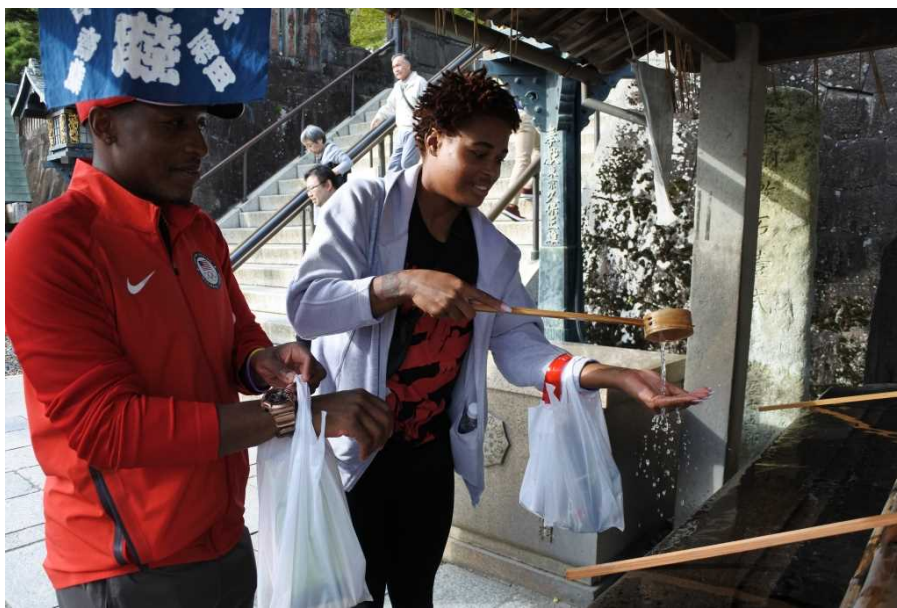
最後は、歴史ある成田山新勝寺でお参りするなど、様々な日本の文化に触れていただきました。











成田高校訪問（20 日）

前回と同様に、2015 年の事前キャンプの際に運営ボランティアなどで協力していただいた成田高校陸上競技部を訪問し、部員たちと交流を深めました。

Darryl コーチや Sharika 選手、Mike 選手から部員たちへ激励のメッセージを伝え、その後、3 人に対する質問の時間を設けていただきました。

レース前に心がけていることや、タイムが伸びないときの対処方法など、部員たちの相談や悩みなどに真摯に答え、アドバイスをしていました。



陸上クリニック：小学生の部（21日）

21日の午前中は、小学生を対象とした陸上クリニックを開催しました。今回の陸上クリニックは、順天堂大学の陸上競技部の他、セレスポ陸上部による運営協力をいただき、開催しました。

市内の小学校を通じて募集を行いました。定員120名のところ、230名を超える応募がありました。

当日は天候にも恵まれ、参加した児童は、陸上の基本動作を学ぶという内容のクリニックをとても楽しんでいました。

ミニハードルや立ち幅跳び、ボール投げなど、スポーツの基本動作に繋がるトレーニングを約10種類行い、最後に、学んだことを生かすという目的で、幾つかのチームに分けてタッチリレーを行いました。

途中、Darryl コーチや Sharika 選手、Mike 選手も一緒に走り、会場は大いに盛り上がりました。

閉講式では、質疑応答の時間を設け、その後、参加者を代表して児童からお礼の言葉を伝え、最後はみんなで記念写真を撮りました。











陸上クリニック：中学生の部（21日）

21日の午後は、中学校の陸上部の生徒を対象とした陸上クリニックを開催しました。

市内の中学校だけではなく、佐倉市・印西市と連名でアメリカを対象としたホストタウンに登録していることもあり、それぞれの中学校からも参加がありました。

また、アメリカを交流の対象国とした「復興ありがとうホストタウン」に登録されている岩手県大船渡市の生徒も参加し、約150名の生徒がコーチたちの指導を受けました。

陸上部に所属する生徒を対象としていたことから、クリニックの内容は小学生の部よりも専門的なトレーニングを行いました。

トレーニングの最後には、クリニックの総仕上げとして、前回と同様に、2020年のオリンピックから正式に採用される種目であるミックスリレーを行いました。他校のメンバー

とチームを組み、さらに男女混合ということで、普段とは違う状況でのリレーは大いに盛り上がり、特にアンカーで Mike 選手が 1 位でゴールした時は最高の盛り上がりをみせました。

閉講式では、小学生の部と同様に質疑応答の時間が設けられ、参加者を代表して公津の杜中学校の生徒が英語のスピーチで感謝の言葉を伝え、最後に記念撮影をしました。

記念撮影終了後もたくさんの生徒に囲まれ、写真撮影やサインの求めに応じるなど、最後まで交流を楽しんでいました。









